

FLY ME TO THE MOON

コード進行アナライズ

実践的なアドリブ練習に入りましょう。お馴染みの名曲 FLY ME TO THE MOON のコード進行を借りて練習していきます。まずはアナライズから。4つの流れのうち3つ使われていますので確認してください(○印)。ここがアドリブの聴かせどころになります。このコード譜面を見て、「ここであのフレーズを使って、こっちはあのフレーズ……」という具合にシミュレーションできるようになることがアナライズ

の目標です。

4つの流れは、道案内するときの目印のようなものです。バス停までの道順を説明するとき「まっすぐ行って、コンビニの角を右に曲がって、スーパーの交差点を左、ドラッグストアの向かい側にあるよ」という感じですよ？コンビニやドラッグストアなどの目印、これが4つの流れです。見落としの無いようにしっかりチェックしてください。

Ex-3 FLY ME TO THE MOON コード進行アナライズ

1度メジャーへの流れ

6度マイナーへの流れ

1度メジャーへの流れ

2度マイナーへの流れ

6度マイナーへの流れ

1度メジャーへの流れ

6度マイナーへの流れ

2度マイナーへの流れ

6度マイナーへの流れ

1度メジャーへの流れ

3度マイナー (Em7) は 1度メジャー (Cmaj7) として アドリブします

ディミニッシュ = レドシラ と憶えよう！ 詳しくは p52 を参照

バックイング

アドリブ練習に入る前に、バックイングの練習をしましょう。引っかかりから安定してザクザク刻めるようになることが大事です。コード進行を憶えたとしてもコード・ネームはしっかり見て、流れを意識しながら練習してください。アドリブフレーズを鼻歌で歌いながら刻めるようになることを目標

に頑張ってください。

このコード・フォームは利点がたくさんありますので、この通りに押さえるのをお勧めします。押さえない弦は全てミュートで、指を寝かせ気味にするとミュートしやすくなります。

Ex-4 FLY ME TO THE MOON バックイング例

押さえにくい場合は
①の音は出なくてもOK

The diagram shows the following chord progressions:

- Row 1: Am7 (capo 5), Dm7 (capo 5), G7 (capo 3), C6 (capo 3)
- Row 2: F6 (capo 8), Bm7⁻⁵ (capo 7), E7 (capo 7), Am7 (capo 5)
- Row 3: Dm7 (capo 5), G7 (capo 3), C6 (capo 3), A7 (capo 5)
- Row 4: Dm7 (capo 5), G7 (capo 3), C6 (capo 3), Bm7⁻⁵ (capo 7), E7 (capo 7)
- Row 5: Dm7 (capo 5), D#dim (capo 6), Em7 (capo 7), A7 (capo 5)
- Row 6: Dm7 (capo 5), G7 (capo 3), C6 (capo 3), (Bm7⁻⁵ (capo 7), E7 (capo 7))

FLY ME TO THE MOON アドリブ①

最初はテンポを気にせずゆっくり、途中立ち止まりながら弾いていきます。4つの流れのフレーズの出だしのタイミング、スタートの音、着地したコードの形、を確認しながら、音符・タブ譜を見なくても弾けるまで繰り返し練習します。

完全に憶えたら、伴奏音源に合わせて余裕で弾けるまで繰り返し練習。余裕が出てきたら、コード進行だけを見て4つの流れを意識しながら、着地コードの形も意識しながら、更に弾き込みます。

D#dim は レドシラ・フレーズ を使います。「デミニッシュはレドシラ」と呪文のように憶えてください。詳しくは p52 で解説します。

コード進行だけを見て弾く場合、E7→Am7 と A7→Dm7 のフレーズが「どっちだっけ？」となりがちなので、ドミナントの○印の横に 3-4f(3弦4フレットの意味)というフレーズ出だしの目印を載せました。音符やタブ譜を見ないで、指板の形を意識しながら頑張ってください！

Ex-5 FLY ME TO THE MOON アドリブ①

The musical score is presented in four systems, each with a treble clef staff and a guitar tab staff. Chords are indicated above the staff, and some are circled. Fingerings are shown on the tab staff, and specific fretting instructions are provided for circled chords.

- System 1:** Am7, Dm7, G7 (circled), Cmaj7. Tab: 5-7-8 | 5-8-6 | (6) | 7-6-5 | 7-6-5-7-8-7-6-8 | 5-5 | 5.
- System 2:** Fmaj7, Bm7-5, E7 (circled, 3-4 f), Am7. Tab: 6-8-5 | 6-7 | (7) | 5-7-4-5-6 | 7-5-4 | 7-6 | 6-5-7 | 5-7 | 7-6-5.
- System 3:** Dm7, G7 (circled), Cmaj7, A7 (circled, 2-5 f). Tab: 7 | 7-6-5 | 7-6-5-7-8-7-6-8 | 5-5 | 5-6-7 | 8-6-5 | 7-6 | 6-5-8.
- System 4:** Dm7, G7 (circled), Cmaj7, Bm7-5, E7 (circled, 3-4 f). Tab: 6-7 | 7-6-5 | 7-6-5-7-8-7-6-8 | 5-5 | 4-5-6 | 7-5-4 | 7-6 | 6-5-7.

コラム フレーズを憶えるコツ!?

フレーズを練習する時、憶えるぞ！っと気合を入れても、なかなか憶えられなかつたりしますよね。気合が入れば入るほど空回りするものです。そんな時はあべこべに考えるのも悪くないかも知れません。こんなフレーズ、憶えてやる

もんか！何十回弾いたって絶対憶えねーぞ！と心の底から思って練習していると、くっそー！憶えたくないのに憶えてしまったー！っとなるかも知れませんよ(笑)

練習チェックリスト

- バッキングを刻みながらアドリブ1を鼻歌で歌える
- 伴奏音源に合わせて間違えずに余裕で弾ける
- コード進行だけを見て4つの流れを意識しながら弾ける
- 練習が楽しい！

The musical score consists of four systems, each with a treble clef staff and a bass staff. The chords and fingerings are as follows:

- System 1:** Am7, Dm7, G7 (circled), Cmaj7. Bass staff fingerings: 5-7-5-6-7, (7)-5-7-7-6-5, 7-6-5-7-8-7-6-8, 5-5-5.
- System 2:** Fmaj7, Bm7-5, E7 (circled, 3-4 f), Am7. Bass staff fingerings: 6-8-5-6-7, (7)-4-5-6, 7-5-4-7-6-6-5-7, 5-7-7-6-5.
- System 3:** Dm7, D#dim, Em7, A7 (circled, 2-5 f). Bass staff fingerings: 7-6-7-5, 10-8-10-8-7-10-8, (8)-5-6-7, 8-6-5-7-6-6-5-8. Text: レドシラ・フレーズ.
- System 4:** Dm7, G7 (circled), Cmaj7, Bm7-5, E7 (circled). Bass staff fingerings: 6-7-7-6-5, 7-6-5-7-8-7-6-8, 5-5-6-5-7-8, (8).

FLY ME TO THE MOON アドリブ②

新しいフレーズを使ったアドリブ例です。マイナー・ドミナント・フレーズは、アドリブ1と基本的には同じフレーズで、途中からオクターブ違いになっています。

アドリブ1と同様、最初はテンポを気にせずゆっくり、途中立ち止まりながら弾いていきます。4つの流れのフレーズの出だしのタイミング、スタートの音、着地したコードの形、を確認しながら、音符・タブ譜を見なくても弾けるまで

繰り返し練習します。

完全に憶えたら、伴奏音源に合わせて余裕で弾けるまで繰り返し練習。余裕が出てきたら、コード進行だけを見て4つの流れを意識しながら、着地コードの形も意識しながら、更に弾き込みます。

D#dim のレドシラ・フレーズも音を追加して、よりカッコよくディミニッシュらしいフレーズになっています。

Ex-6 FLY ME TO THE MOON アドリブ②

The musical score is divided into four systems, each containing a treble clef staff and a guitar tablature staff. The chords and their positions are as follows:

- System 1:** Am7, Dm7, G7, Cmaj7. Tablature includes slurs and fingerings like 5-7-5, 5-4-7, (7)-6-7, 4-5-7, 8-5-6, 7-5-8, 7-5, and 5-7-5.
- System 2:** Fmaj7, Bm7-5, E7, Am7. Tablature includes slurs and fingerings like 6-8-5, 6-5-7, (7)-7, 7-8-9, 10-8-7, 10-9, 10-9-7, and 10-7-6.
- System 3:** Dm7, G7, Cmaj7, A7. Tablature includes slurs and fingerings like 5-4-5-7, 8-5-6, 7-5-8, 7-5, 7-6-5, 5-6-7, 8-6-5, 7-6, 8-7-5.
- System 4:** Dm7, G7, Cmaj7, Bm7-5 E7. Tablature includes slurs and fingerings like 4-5-7, 8-5-6, 7-5-8, 7-5, 7-8-9, 10-8-7, 10-9, 10-9-7.

6度はどっち？

6度が Am7 だったり A7 だったり、混乱しますよね？どっちかにして欲しいところです。6度の基本は Am7 ですが、Dm7 のドミナントとして A7 が使われます。Dm7 の引き立て役です。6度のAさんが名前をちょっと変えて2役も3役もこなす、これがジャズのカッコよさであり楽しさでもあります。

超難解だと全然楽しくありませんが、超簡単でもつまらない、程よい難しさが楽しいですね。

他のコード(C,D,E,F,G,A,B)もそれぞれ2~3役務めます。全部合わせると凄い数になりますが、出てきた順に少しずつ憶えていきましょう。

練習チェックリスト

- コード進行だけを見て4つの流れを意識しながら弾ける
- 弾きながら伴奏音源の響きを聴く余裕がある
- 練習が楽しい！

The image displays four systems of musical notation for guitar, each consisting of a treble clef staff with a melodic line and a bass clef staff with a bass line. Chord changes are indicated above the staffs, and specific notes are circled. Fingering numbers (1-4) are written below the notes. Some systems include slurs and accents.

System 1: Chords: Am7, Dm7, G7 (circled), Cmaj7. Bass line: 10-7-9, 10-9-7, 7, (7)-6-7, 4-5-7, 8-5, 6, 7-5-8, 7-5, 4-5, 5-8, 7-5, 8-7.

System 2: Chords: Fmaj7, Bm7-5, E7 (circled) / -7 f, Am7. Bass line: 6-8-5, 6-5, 7-7, (7), 7, 7-8-9, 10-8-7, 10-9, 10-9-7, 10-7, 6.

System 3: Chords: Dm7, D#dim, Em7, A7 (circled) 2-5 f. Bass line: 5, 7, 10-8-10-8-7-7, 8, 10, 8, 5-6-7, 8-6-5, 7-6, 8-7-5. Includes the text "レドシラ+α・フレーズ".

System 4: Chords: Dm7, G7 (circled), Cmaj7, Bm7-5 E7 (circled). Bass line: 8-5, 4-5-7, 8-5, 6, 7-5-8, 7-5, 5, 8-5-6-7, (7).

FLY ME TO THE MOON アドリブ①・②ミックス

アドリブ①と②が余裕で弾けるようになったら、①と②を交ぜていきます。意識して交ぜるのではなく、「アドリブ②を弾いていたら、つい①が交ざっちゃった」というように自然に交ざるのが理想です。それだけ余裕が出てきた証拠になります。例えば、車の免許取りたての頃は高速道路が怖くて左車線しか走れなかったのに、だんだん慣れてきて車線変更できるようになった、というイメージです。

Ex-7 は交ぜ方の1つの例ですので、これをそのまま弾く前に、まずは自力でアドリブ①と②をテキストに交ぜてみてください。「適当に」ではなく「テキトーに」です。これくらい気楽に弾けるようになることがポイントです。もし上手くいかない場合は①と②の弾き込みが足りないかも知れませんが、ページを戻ってもう少し頑張ってください。

Ex-7 FLY ME TO THE MOON アドリブ①・②ミックス

The musical score is presented in four systems, each with a treble clef staff and a bass staff. The bass staff includes fingerings and chord diagrams. Chords are labeled above the staff: Am7, Dm7, G7, Cmaj7, Fmaj7, Bm7-5, E7, Am7, Dm7, G7, Cmaj7, A7, Dm7, G7, Cmaj7, Bm7-5, E7. Fingerings are indicated by numbers 1-5 on the bass staff. Dynamics like 'f' and 's' are also present. A circled G7 and a circled E7 are highlighted in the original image.

アドリブの第1歩

アドリブ①と②を楽譜通りに弾いているうちは、まだアドリブとは言えませんよね。アドリブできるようになるための準備です。アドリブ1と2を自然に交ぜて弾けるようになってくると、これがアドリブの第1歩です！素晴らしいことです。赤飯ものです。登山でいうと2合目か3合目か、一区切りになります。「ふー」と一息ついて後ろを振り返ってみると、な

かなかの景色が広がっていて、「登ってきたなー」と喜びを感じるわけです。

アドリブ練習でも、頑張ってきた成果を実感できると次のステップに向けてモチベーションが一気に上がります。ぜひこの快感を味わってください！

練習チェックリスト

- アドリブ①と②が自然に交ざった
- 練習が楽しい！

The musical score consists of four systems, each with a treble clef staff and a bass staff. Chords are indicated above the staff. Some chords are circled: G7, E7, and A7. There are also circled chord pairs: Bm7-5 and E7. Performance markings include 's' for slurs, '3-4 f' for triplets, and '2-5 f' for doublets. The score ends with a double bar line.